

吸収合併に係る事後開示書面  
(吸収合併に係る事後備置書面)

2020年10月 1 日

株式会社イグニス

2020年10月1日

株式会社イグニス  
代表取締役社長 銭 鋳

## 吸収合併に係る事後開示書面

(吸収合併存続会社  
／会社法第801条第1項及び会社法施行規則第200条に基づく事後備置書面)

当社は、2020年8月7日付けで、当社100%出資の連結子会社である株式会社スタジオキング（以下「スタジオキング」）との間で締結した吸収合併契約に基づき、2020年10月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、スタジオキングを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」）を行いました。本合併に関し、会社法第801条第1項及び会社法施行規則第200条に定める事項は下記のとおりです。

### 記

1. 吸収合併が効力を生じた日（会社施行規則第200条第1号）

2020年10月1日

2. 吸収合併消滅会社における法定手続の経過（会社施行規則第200条第2号）
  - (1) 吸収合併をやめることの請求に係る手続の経過

吸収合併消滅会社は、当社100%出資の連結子会社であったため、本合併をやめることを請求した株主はいませんでした。

- (2) 反対株主の株式買取請求手続の経過

吸収合併消滅会社は、当社100%出資の連結子会社であったため、反対株主の買取請求について該当はありません。

- (3) 新株予約権買取請求手続の経過

吸収合併消滅会社は、新株予約権を発行しておりませんでしたので、新株予約権買取請求について該当はありません。

#### (4) 債権者の異議手続の経過

吸収合併消滅会社は、会社法第 789 条第 2 項の規定により 2020 年 8 月 25 日付の官報及び個別催告により債権者に対して本合併に対する異議申述の公告等を行いました。異議申述期限までに債権者からの異議の申し出はありませんでした。

### 3. 吸収合併存続会社における法定手続の経過（会社施行規則第 200 条第 3 号）

#### (1) 吸収合併をやめることの請求に係る手続の経過

当社に対して本合併をやめることを請求した株主はいませんでした。

#### (2) 反対株主の株式買取請求手続の経過

本合併は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づく簡易合併であるため、当社は反対株主の株式買取請求手続は行っておりません。

#### (4) 債権者の異議手続の経過

当社は、会社法第 799 条第 2 項及び第 3 項の規定により、2020 年 8 月 25 日付の官報及び電子公告において債権者に対して本合併に対する異議申述の公告を行いました。異議申述期限までに債権者からの異議の申し出はありませんでした。

### 4. 吸収合併により吸収合併存続会社が吸収合併消滅会社から承継した重要な権利義務に関する事項(会社施行規則第 200 条第 4 号)

当社は、効力発生日をもって、吸収合併消滅会社の資産、負債及びその他の権利義務の一切を承継しました。

### 5. 会社法第 782 条 1 項の規定により吸収合併消滅会社が備え置いた書面(会社施行規則第 200 条第 5 号)

別紙の通りです。

### 6. 会社法 921 条の変更の登記をした日(会社施行規則第 200 条第 6 号)

法定の期間内に行う予定です。

### 7. その他吸収合併に関する重要な事項（会社施行規則第 200 条第 7 号）

該当はありません。

以 上

吸収合併に係る事前開示書面  
(吸収合併に係る事前備置書面)

2020年8月7日

株式会社スタジオキング

2020年8月7日

株式会社スタジオキング  
代表取締役 鈴木 貴明

## 吸収合併に係る事前開示書面

(吸収合併消滅会社  
／会社法第782条第1項及び会社法施行規則第182条に基づく事前備置書面)

当社は、2020年8月7日付けで、当社の完全親会社である株式会社イグニス（以下「イグニス」）との間で締結した吸収合併契約に基づき、2020年10月1日を効力発生日として、イグニスを吸収合併存続会社、当社を吸収合併消滅会社とする吸収合併(以下「本合併」)を行うこととしました。本合併に関し、会社法第782条第1項及び会社法施行規則第182条に定める事項は下記のとおりです。

### 記

1. 吸収合併契約の内容(会社法第782条第1項)

2020年8月7日付けで当社とイグニスが締結した合併契約書は、別紙1の通りです。

2. 合併対価の相当性に関する事項(会社施行規則第182条第1項第1号)

当社は、イグニス100%出資の連結子会社であるため、イグニスは本合併に際して株式その他金銭等の交付を行いません。

3. 合併対価について参考となるべき事項(会社施行規則第182条第1項第2号)

該当事項はありません。

4. 新株予約権の対価の相当性に関する事項(会社施行規則第182条第1項第3号)

該当事項はありません。

5. 計算書類等に関する事項(会社施行規則第 182 条第 1 項第 4 号)

**【吸収合併存続会社】**

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

イグニス は、有価証券報告書及び四半期報告書を関東財務局に提出していません。最終事業年度に係る計算書類等については、金融商品取引法に基づく有価証券等の開示書類に関する電子開示システム(EDINET)によりご覧いただけます。

(2) 最終事業年度の末日後を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

イグニスは、本合併のほか、2020年8月7日開催の取締役会において、2020年10月1日を効力発生日として、イグニスを吸収合併存続会社、イグニス100%出資の連結子会社である株式会社IGNIS APPS、ALTR THINK株式会社、株式会社イグニスメディカルケアソリューションズ、株式会社ラップランド及び株式会社アイシーを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議しております。当該合併の詳細は、別紙2の通りです。

**【吸収合併消滅会社】**

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

当社の最終事業年度に係る計算書類等は、別紙3の通りです。

(2) 最終事業年度の末日後を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

当社は、最終事業年度の末日後において同社が展開しているスマートフォン向けゲームアプリの企画・開発・運営等の事業を会社分割(簡易新設分割)により設立する新設会社の株式会社スタジオレックスに承継させたいうえで、その新設会社の全株式を株式会社ドリコムへ譲渡しています。当該取引の詳細は、別紙4の通りです。

6. 本合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項(会社施行規則第 182 条 5 号)

本合併効力発生日後のイグニスの資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併効力発生日後のイグニスの収益状況及びキャッシュ・フローの状況につきまして、イグニスの債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。従いまして、本合併後におけるイグニスの債務について履行の見込みがあると判断いたします。

以 上



---

吸 収 合 併 契 約 書

---

2020年 8月 7日

吸収合併存続会社：株式会社イグニス

吸収合併消滅会社：株式会社スタジオキング





## 吸収合併契約書

株式会社イグニス（以下「甲」という。）及び株式会社スタジオキング（以下「乙」という。）は、甲と乙との合併（以下「本合併」という。）に関し、以下の通り契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### 第1条（合併の方法）

甲及び乙は、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として合併し、甲は乙の権利義務の全部を承継して存続し、乙は解散する。

### 第2条（合併当事者）

本合併にかかる吸収合併存続会社と吸収合併消滅会社の商号及び住所は次のとおりである。

- (1) 吸収合併存続会社  
商号：株式会社イグニス  
住所：東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号
- (2) 吸収合併消滅会社  
商号：株式会社スタジオキング  
本店：東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号

### 第3条（本合併に際して交付する金銭等）

甲は、甲が乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際して、乙の株主に対して、その有する株式に代わる金銭等の交付を行わない。

### 第4条（本合併により増加すべき資本金及び準備金）

甲は、本合併により資本金及び準備金の額は増加しないものとする。

### 第5条（効力発生日）

本合併の効力発生日（以下「効力発生日」という。）は、2020年10月1日とする。但し、本合併の手續進行上の必要性その他の事由により必要な場合は、甲乙が協議のうえこれを変更することができる。

#### 第6条（合併承認総会の省略）

甲は会社法第796条第2項、乙は同第784条第1項に基づき株主総会の承認決議を経ずに吸収合併する。

#### 第7条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日の前日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれの業務を執行し、かつ一切の財産管理の運営をするものとし、その資産、負債及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲乙協議のうえこれを実行する。

#### 第8条（従業員への処遇）

甲は、効力発生日において、乙の従業員を甲の従業員として引継ぐものとする。但し、勤続年数については、乙における年数を通算し、その他の取扱いについては、別に甲乙協議のうえ決定する。

#### 第9条（本契約の効力）

本契約は、法令に定める関係官庁等の承認が得られなかった場合には、その効力を失う。

#### 第10条（合併条件の変更及び本契約の解除）

本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、天災地変その他の事由により、甲又は乙の財産状態若しくは経営状態に重大な変更が生じた場合、本合併の実行に重大な支障となる事態が生じ若しくは明らかとなった場合、その他本契約の目的の達成が困難となった場合は、甲乙が協議のうえ合併条件を変更し又は本契約を解除することができる。

#### 第11条（停止条件）

本合併の効力は、甲及び株式会社IGNIS APPSとの間で締結された2020年8月7日付吸収合併契約に基づく吸収合併の効力が生じることを条件として、生じるものとする。

#### 第12条（本契約に定めのない事項）

本契約に定めるもののほか、本合併に必要な事項については、本契約の趣旨に従い、甲乙が協議のうえこれを決定する。

本契約締結の証として、本書 1 通を作成し、甲が原本を保有し、乙はその写しを保有する。

2020年8月7日

甲：東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号

株式会社イグニス

代表取締役 銭 鋨



乙：東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号

株式会社スタジオキング

代表取締役 鈴木 貴明



# IGNIS



2020年8月7日

各 位

会社名 株式会社 イグニス  
代表者名 代表取締役社長 銭 銀  
(コード番号：3689 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員 CFO 松本 智仁  
(TEL. 03-6408-6820)

## 連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、下記の通り、当社100%出資の連結子会社である株式会社IGNIS APPS（以下「IGNIS APPS」）、株式会社スタジオキング（以下「スタジオキング」）、ALTR THINK株式会社（以下「ALTR THINK」）、株式会社イグニスメディカルケアソリューションズ（以下「イグニスメディカルケアソリューションズ」）、株式会社ラップランド（以下「ラップランド」）及び株式会社アイシー（以下「アイシー」）の6社を吸収合併（以下「本合併」）することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本合併は、当社100%出資の連結子会社を対象とする簡易吸収合併であるため、開示事項及び内容を一部省略して開示しております。

### 記

#### 1. 合併の目的

当社グループ（当社及び関係会社）は「世界にインパクトを与えなければ、気がすまない」という経営理念及び「次のあたりまえを創る。何度でも」というミッションのもと、インターネット、スマートフォン等を通じたさまざまなビジネス領域において、多くのユーザーに支持されるサービスの企画・制作・運営を行っており、具体的には、「マッチング事業」、「エンターテック事業」及び「ゲーム事業」を展開してまいりました。

一方で、2020年3月2日に開示いたしました「（開示事項の経過）スマートフォン向けゲームアプリ及びブラウザゲームの譲渡に伴う会社分割（簡易新設分割）による新設会社の株式譲渡完了に関するお知らせ」のとおり、「ゲーム事業」の主要ゲームタイトルである『ぼくとドラゴン』及び『猫とドラゴン』をスタジオキングから株式会社ドリコムに譲渡したことに伴い、スタジオキングは事業を凍結しておりました。また、『でみめん』を運営していたラップランドにおいても、当該ゲームタイトルを2019年12月12日終了したことから、同様に事業を凍結しておりました。

当該状況下において、当社グループは、当社グループを取り巻く環境変化に的確に対応し、経営管理効率をより高めるため「ゲーム事業」を展開していた上記2社を当社に吸収合併することといたしました。また、主に「マッチング事業」及び「エンターテック事業」以外の事業を展開するIGNIS APPS、ALTR THINK、イグニスメディカルケアソリューションズ及びアイシーについて、当社グループにおける当該事業の重要性が高いものではないことから、親会社である当社に統一することで、業務の効率化及び人材・経営資源の集約化を行うことといたしました。

これら構造改革を通じて、当社グループが属する事業環境や事業規模の変化に迅速かつ適切に対応できるグループ体制の構築を図り、当社グループ全体の企業価値の一層の向上を目指してまいります。

なお、「マッチング事業」「エンターテック事業」は、引き続き当社の連結子会社である株式会社with及びパルス株式会社を中心に事業を展開し、更なる事業成長、収益拡大を進めてまいります。

## 2. 合併の要旨

### (1) 合併の日程

当社取締役会決議日	2020年8月7日
合併契約締結日	2020年8月7日
合併期日（効力発生日）	2020年10月1日（予定）

(注) 本合併は、会社法第796条第2項に定める簡易合併及び同法第784条第1項に定める略式合併の規定により、当社並びにIGNIS APPS、スタジオキング、ALTR THINK、イグニスメディカルケアソリューションズ、ラップランド及びアイシーにおいて合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。なお、IGNIS APPS、ALTR THINK、イグニスメディカルケアソリューションズ、ラップランド及びアイシーは債務超過となっておりますが、当社は当該債務超過相当額の貸倒引当金を計上しており、本合併の際に貸倒引当金を戻し入れることから合併差損は発生しないものと判断し、簡易合併をいたします。

### (2) 合併方式

本合併は、当社を存続会社、IGNIS APPS、スタジオキング、ALTR THINK、イグニスメディカルケアソリューションズ、ラップランド及びアイシーを消滅会社とする吸収合併方式です。

### (3) 合併に係る割当ての内容

本合併は、当社と当社100%出資の連結子会社との吸収合併であるため、本合併による新株式の発行及び金銭等の割当てはありません。

### (4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

IGNIS APPS、スタジオキング、ALTR THINK、イグニスメディカルケアソリューションズ、ラップランド及びアイシーはいずれも新株予約権及び新株予約権付社債を発行していません。

### 3. 合併当事会社の概要（2019年9月30日現在）

	存続会社
名称	株式会社イグニス
所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 錢 鋳
事業内容	スマートフォン向けゲームアプリ等の企画・開発・運営
資本金	2,234百万円
決算期	9月30日
発行済株式数	14,662,600株
大株主及び持株比率	錢 鋳 (27.1%) 鈴木 貴明 (27.1%) 株式会社QK (2.4%) 株式会社SK (1.8%)
設立年月日	2010年5月31日
直近事業年度における経営成績及び財政状態	
決算期	2019年9月期（連結）
純資産	2,266百万円
総資産	3,956百万円
1株当たり純資産	153.94円
売上高	5,571百万円
営業利益	△744百万円
経常利益	△867百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△631百万円
1株当たり当期純利益	△44.05円

	存続会社	消滅会社	消滅会社
名称	株式会社 I G N I S A P P S	株式会社スタジオキン グ	A L T R T H I N K 株式会社
所在地	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号
代表者の役職・氏名	代表取締役 銭 鋺	代表取締役 鈴木 貴明	代表取締役 銭 鋺
事業内容	スマートフォン向け ゲームアプリ等の企画・ 開発・運営	スマートフォン向け ゲームアプリ等の企画・ 開発・運営	スマートフォン向け ゲームアプリ等の企画・ 開発・運営
資本金	99 百万円	5 百万円	100 百万円
決算期	9 月 30 日	9 月 30 日	9 月 30 日
発行済株式数	19,300 株	500 株	10,000 株
大株主及び持株比率	株式会社イグニス (100.0%)	株式会社イグニス (100.0%)	株式会社イグニス (100.0%)
設立年月日	2013 年 8 月 9 日	2014 年 2 月 18 日	2013 年 4 月 11 日
直近事業年度における経営成績及び財政状態			
決算期	2019 年 9 月期 (単体)	2019 年 9 月期 (単体)	2019 年 9 月期 (単体)
純資産	22 百万円	2,068 百万円	△19 百万円
総資産	265 百万円	2,394 百万円	15 百万円
1株当たり純資産	1,141.10 円	4,137,542.15 円	△1,907.34 円
売上高	409 百万円	2,232 百万円	23 百万円
営業利益	△111 百万円	265 百万円	10 百万円
経常利益	△112 百万円	267 百万円	10 百万円
(親会社株主に帰属 する) 当期純利益	△92 百万円	179 百万円	17 百万円
1株当たり当期純利益	△4,815.66 円	358,316.46 円	1,738.49 円

	消滅会社	消滅会社	消滅会社
名称	株式会社イグニスメディア イカルケアソリューションズ	株式会社ラップランド	株式会社アイシー
所在地	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号	東京都渋谷区恵比寿 一丁目 19 番 19 号
代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 翔士	代表取締役 鈴木 貴明	代表取締役 銭 鋨
事業内容	インターネット情報 サービス業	スマートフォン向け ゲームアプリ等の企画・ 開発・運営	金銭貸付業
資本金	5 百万円	5 百万円	80 百万円
決算期	9 月 30 日	9 月 30 日	9 月 30 日
発行済株式数	500 株	500 株	16,000 株
大株主及び持株比率	株式会社イグニス (100.0%)	株式会社イグニス (100.0%)	株式会社イグニス (100.0%)
設立年月日	2015 年 10 月 1 日	2018 年 8 月 1 日	2015 年 6 月 10 日
直近事業年度における経営成績及び財政状態			
決算期	2019 年 9 月期 (単体)	2019 年 9 月期 (単体)	2019 年 9 月期 (単体)
純資産	△315 百万円	△81 百万円	△746 百万円
総資産	57 百万円	40 百万円	399 百万円
1株当たり純資産	△631,256.00 円	△163,679.51 円	△46,648.86 円
売上高	0 百万円	188 百万円	3 百万円
営業利益	△50 百万円	△112 百万円	△63 百万円
経常利益	△50 百万円	△112 百万円	△64 百万円
(親会社株主に帰属 する) 当期純利益	△103 百万円	△85 百万円	△72 百万円
1株当たり当期純利益	△207,778.17 円	△171,388.81 円	△4,541.96 円

#### 4. 合併後の状況

本合併後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

#### 5. 今後の見通し

本合併は、当社と当社 100%出資の連結子会社との吸収合併であるため、当社連結業績に与える影響はありません。

以 上

第 6 期  
事 業 報 告 書

2018年10月1日から

2019年9月30日まで

株 式 会 社 ス タ ジ オ キ ン グ

# 事業報告

(2018年10月1日から  
2019年9月30日まで)

## 1. 事業の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当社は、スマートフォン向けゲームアプリの企画、開発、運営を行うスマートフォンアプリ事業を展開しております。主力タイトルである『ぼくとドラゴン』は配信開始から5年目に突入し、既存ユーザーの満足度向上と収益の安定化を目指すため、季節イベントの強化や、他社人気IPとのコラボレーションを多数実施するなど、ユーザーとのエンゲージメントを高めるサービス運用をしてまいりました。また、2019年4月3日には、初のブラウザゲームである、『猫とドラゴン』の提供を開始いたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は2,232,617,271円（前事業年度比18.8%減）、営業利益は265,944,208円（前事業年度比1,136.4%増）、経常利益は267,419,843円（前事業年度比966.1%増）となり、当期純利益は179,158,223円（前事業年度は6,776,975円の当期純損失）となりました。

### (2) 資金調達の状況

該当事項はありません。

### (3) 設備投資の状況

該当事項はありません。

### (4) 当社が対処すべき課題

#### ①収益基盤の確立及び安定化

スマートフォンゲームは、これまでの家庭用ゲーム専用機向けタイトルとは異なり、サービスの開始後もユーザーの動向に合わせてゲーム内容の改良を常に行うことで収益基盤を確立するものであり、当該収益基盤の確立及び安定化について、経営上の課題であると認識しております。そのため、既存タイトルのプロモーションを中心とした的確なコストコントロールによりプロジェクト利益を高水準に維持することに努めます。また、新規タイトルのリリースに向けて開発・運用体制の強化をすべく、クリエイターの採用と育成を進めます。

上記を推進することにより、収益基盤の確立及び安定化に努めていく方針であります。

## ②組織体制の強化と内部統制及びコンプライアンス体制の強化

当社は、今後更なる事業拡大を推進するに当たって、従業員のモチベーションを引き出す目標管理制度や福利厚生等の人事制度構築に努めながら、業務遂行能力、人格、当社の企業文化及び経営方針への共感を兼ね備え、優秀な人材の採用に取り組んで参ります。組織設計においては少人数単位でのチーム制を採用すると同時に、チーム毎の自律性を促すよう権限の委譲を推し進めることで意思決定の質とスピードを維持するなど、従業員のパフォーマンスを最大化させる取り組みを引き続き継続していく方針であります。また、内部統制及びコンプライアンス体制の充実・強化を図って参ります。

## ③システム基盤の強化

当社は、スマートフォンアプリを Apple Inc.のスマートフォン「iPhone」・タブレット端末「iPad」などの iOS 搭載端末向け、及び Google Inc.の Android 搭載端末向けに展開していることから、サービス提供に係るシステム稼働の安定性を確保することが経営上重要な課題であると認識しております。そのため、各種アプリを運営する上では、ユーザー数増加に伴う負荷分散やユーザー満足度の向上を目的とした新規サービス・機能の開発等に備え、設備への先行投資を継続的に行っていくことが必要となります。当社は、その重要性に鑑み、今後においてもシステム基盤の強化への取り組みを継続していく方針であります。

## ④技術革新への対応

当社は、先端的なテクノロジーを基盤にした新規サービスや新たなインターネット端末等の技術革新に対して適時に対応を進めることが、事業展開上の重要な要素であると認識しております。各々の技術革新の普及の進展を見ながら、柔軟な対応を図っていく方針であります。

## (5) 財産および損益の状況の推移

区 分 \ 期 別	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期 (当事業年度)
売上高 (円)	4,902,126,978	4,101,890,140	2,745,435,843	2,232,617,271
経常利益 (△は損失) (円)	1,955,634,206	738,183,434	25,083,393	267,419,843
当期純利益 (△は損失) (円)	1,294,797,677	484,440,645	△6,776,965	179,158,223
1株当たり当期純利益 (△は損失) (円)	2,589,595.35	968,881.29	△13,553.95	358,316.45
総資産 (円)	2,547,573,483	2,587,683,123	2,113,411,218	2,394,558,252
純資産 (円)	1,411,949,176	1,896,389,821	1,889,612,846	2,068,771,079
1株当たり純資産 (円)	2,823,898.35	3,792,779.64	3,779,225.69	4,137,542.16

(6) 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

当社の親会社は株式会社イグニスであり、同社は当社の株式を 500 株（出資比率 100%）保有しております。当社は親会社から主として経営指導を受けております。

②重要な子会社の状況

該当事項はありません。

(7) 主要な事業内容（2019年9月30日現在）

事業区	事業内容
スマートフォンアプリ事業	スマートフォン向けアプリの企画、開発、運営

(8) 主要な営業所（2019年9月30日現在）

①当社

名称	所在地
本社	東京都渋谷区

②子会社

該当事項はありません。

(9) 従業員の状況（2019年9月30日現在）

従業員数	前期比増減	平均年齢	平均勤続年数
74（2）名	9名減（-1名減）	32.4歳	3年1ヶ月

(注) 1. 使用人数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマーを含む。）は、最近1年間の平均人員を（ ）内に外数で記載しております。

2. 使用人が前事業年度に比べて9名減少したのは、主として関係会社への転籍及び自己都合退職等による自然減です。

(10) 主要な借入先の状況（2019年9月30日現在）

借入先	借入額
プルデンシャル生命保険株式会社	24,352,714円

2. 会社の株式に関する事項（2019年9月30日現在）

- (1) 発行可能株式総数 10,000,000 株  
 (2) 発行済株式の総数 500 株  
 (3) 株主数 1 名  
 (4) 大株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
株式会社イグニス	500 株	100.00%

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等

地位	氏名	担当及び重要な兼職状況
代表取締役	鈴木 貴明	株式会社イグニス 代表取締役
取締役	銭 鋨	株式会社イグニス 代表取締役社長
取締役	山本 彰彦	株式会社イグニス 取締役
監査役	中島 早香	株式会社イグニス 取締役常勤監査等委員

(注) 監査役の中島早香氏は公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

(2) 取締役および監査役の報酬等の額

区 分	人 数	報酬等の総額
取 締 役	3 名	- 円
監 査 役	1 名	- 円
合 計	4 名	- 円

(注) 役員は無報酬となっております。

(3) 社外役員に関する事項

該当事項はありません。

## 第 6 期

# 計 算 書 類

2018年10月1日から

2019年9月30日まで

1. 貸 借 対 照 表
2. 損 益 計 算 書
3. 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書
4. 個 別 注 記 表

株式会社スタジオキング



# 損 益 計 算 書

自 2018年 10月 1日 至 2019年 9月 30日

(当期累計期間)

株式会社スタジオキング

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
<b>【売上高】</b>		
広告売上高	890,558	
受託売上高	89,422,586	
課金売上高	2,132,920,970	
経営指導料	8,083,075	
出向手数料	1,300,082	
売上高合計		2,232,617,271
<b>【売上原価】</b>		
支払手数料(原)	160,242,022	
レベニューシェア費	38,987,229	
外注費(原)	12,712,863	
関係会社支払報酬(原)	34,536,564	
人件費(原)	131,670,021	
旅費交通費(原)	2,640,214	
法定福利費(原)	19,555,752	
設備費	55,607,199	
通信費(原)	241,540	
消耗品費(原)	102,568	
減価償却費(原)	2,275,457	
減価償却費(ソフトウェア)(原)	318,860,245	
売上総利益		777,431,674
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		1,455,185,597
営業利益		1,189,241,389
<b>【営業外収益】</b>		265,944,208
受取利息	1,352,838	
雑収入	929,878	
営業外収益合計		2,282,716
<b>【営業外費用】</b>		
支払利息	426,039	
為替差損	644	
支払手数料(外)	380,398	
営業外費用合計		807,081
経常利益		267,419,843
特別利益合計		0
特別損失合計		0
税引前当期純利益		267,419,843
法人税、住民税及び事業税	89,661,399	
法人税等還付税額	△40,800	
法人税等調整額	△1,358,989	
法人税等合計		88,261,610
当期純利益		179,158,233

# 株主資本等変動計算書

自 2018年 10月 1日 至 2019年 9月 30日

(当期累計期間)

株式会社スタジオキング

(単位：円)

科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
【利益剰余金】		
(その他利益剰余金)		
繰越利益剰余金	当期首残高	1,884,612,846
	当期変動額            当期純利益	179,158,233
	当期末残高	2,063,771,079
利益剰余金合計	当期首残高	1,884,612,846
	当期変動額	179,158,233
	当期末残高	2,063,771,079
株主資本合計	当期首残高	1,889,612,846
	当期変動額	179,158,233
	当期末残高	2,068,771,079
純資産合計	当期首残高	1,889,612,846
	当期変動額	179,158,233
	当期末残高	2,068,771,079

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### ① 固定資産の減価償却の方法

##### イ. 有形固定資産

工具、器具及び備品については定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具、器具及び備品 3～5年

##### ロ. 無形固定資産

ソフトウェアについては定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

自社利用ソフトウェア 2～5年

#### ② その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類および総数

普通株式

500株

## 第 6 期

### 計算書類の附属明細書

2018年10月1日から

2019年9月30日まで

株式会社スタジオキング

1. 有形固定資産および無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
有形固定資産	工具、器具 及び備品	62,111,159	1,686,400	—	63,797,559
	計	62,111,159	1,686,400	—	63,797,559
無形固定資産	ソフトウェア	1,735,951,832	287,616,164	—	2,023,567,996
	計	1,735,951,832	287,616,164	—	2,023,567,996

区分	資産の種類	期末減価 償却累計額 又は 償却累計額	当期 償却額	差引期末 帳簿価額
有形固定資産	工具、器具 及び備品	53,347,192	15,189,139	10,450,367
	計	53,347,192	15,189,139	10,450,367
無形固定資産	ソフトウェア	1,735,899,058	320,070,651	287,668,938
	計	1,735,899,058	320,070,651	287,668,938

(注) 当期増加額のうち、主なものは次のとおりであります。

ソフトウェア スマートフォンアプリ制作 286,722,693 円

## 2. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
給 料 手 当	78,338,202	
賞 与	1,695,273	
法 定 福 利 費	11,177,924	
福 利 厚 生 費	7,157,988	
採 用 費	8,563,200	
荷 造 運 賃	2,630	
広 告 宣 伝 費	63,907,174	
交 際 費	3,000	
会 議 費	4,522,891	
通 信 費	957,933	
旅 費 交 通 費	2,868,466	
消 耗 品 費	499,979	
新 聞 函 書 費	583	
支 払 手 数 料	43,448,681	
P F 手 数 料	624,477,114	
諸 会 費	12,000	
租 税 公 課	1,650,200	
支 払 報 酬	180,678,890	
減 価 償 却 費	7,213,260	
研 究 開 発 費	152,021,407	
雑 費	44,594	
計	1,189,241,389	

## 監 査 報 告 書

2018年10月1日から2019年9月30日までの第6期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第33条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を開覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2019年12月13日

株式会社スタジオキング

監査役

中 島 早 香



# IGNIS



2020年3月2日

各位

会社名 株式会社 イグニス  
代表者名 代表取締役社長 銭 鋲  
(コード番号：3689 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員 CFO 松本 智仁  
(TEL. 03-6408-6820)

## (開示事項の経過) スマートフォン向けゲームアプリ及びブラウザゲームの譲渡に伴う会社分割(簡易新設分割)による新設会社の株式譲渡完了に関するお知らせ

当社は、2020年1月17日に開示いたしました「スマートフォン向けゲームアプリ及びブラウザゲームの譲渡に伴う会社分割(簡易新設分割)による新設会社の株式譲渡に関するお知らせ」(以下、「本件譲渡」)でもご案内のとおり、当社連結子会社である株式会社スタジオキング(以下、「スタジオキング」)が会社分割により設立した新設会社の株式会社スタジオレックス(以下、「スタジオレックス」)の全株式を株式会社ドリコム(以下、「ドリコム社」)へ譲渡いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式譲渡の概要

本日付で、スタジオキングはドリコム社へ新設会社スタジオレックスの全株式を譲渡いたしました。会社分割及び株式譲渡の目的や要旨、分割する事業部門の概要等については、2020年1月17日付の開示資料をご参照ください。

#### 2. 日程

株式譲渡契約締結日	2020年1月17日
会社分割の効力発生日	2020年3月2日
株式譲渡日	2020年3月2日

(注) 本会社分割は、会社法第805条に規定する簡易分割であり、株主総会の承認を要しないため、取締役会決議により実施いたしました。

### 3. 分割当事会社の概要

	分割会社 (2019年9月30日現在)	新設会社 (2020年3月2日現在)
名称	株式会社スタジオキング	株式会社スタジオレックス
所在地	東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 19-19	東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 19-19
代表者	代表取締役 鈴木 貴明	代表取締役 奥村 善生
事業内容	スマートフォン向けゲームアプリ等の企画・開発・運営	スマートフォン向けゲームアプリ等の企画・開発・運営
資本金	5 百万円	5 百万円
決算期	9 月 30 日	3 月 31 日
発行済株式数	500 株	100 株
株主構成	株式会社イグニス (100.0%)	株式会社スタジオキング (100.0%)
設立年月日	2014 年 2 月 18 日	2020 年 3 月 2 日
直近事業年度における経営成績及び財政状態 (2019 年 9 月期)		
純資産	2,068 百万円	—
総資産	2,394 百万円	—
売上高	2,232 百万円	—
営業利益	265 百万円	—
経常利益	267 百万円	—
当期純利益	179 百万円	—
当事会社間の関係	資本関係	新設分割の効力発生日にスタジオキングが新設会社の株式を 100.0%取得しましたが、同日付で、その全株式をドリコムに譲渡いたしました。
	人的関係	分割会社であるスタジオキングの代表取締役が、新設会社であるスタジオレックスの取締役（非常勤）に就任いたしました。
	取引関係	該当事項はありません

#### 4. 株式の譲渡先の概要

名称	株式会社ドリコム	
所在地	東京都目黒区下目黒 1 丁目 8-1 アルコタワー17F	
代表者	代表取締役社長 内藤 裕紀	
事業内容	ゲーム事業、広告・メディア事業	
資本金	1,735 百万円 (2019 年 9 月末時点)	
株主構成	内藤裕紀 (34.46%)、株式会社バンダイナムコホールディングス (19.19%)	
設立年月日	2001 年 11 月 13 日	
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません
URL	<a href="https://www.drecom.co.jp/">https://www.drecom.co.jp/</a>	

#### 5. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	100 株 (議決権 1 個) (議決権所有割合: 100.0%)
譲渡株式数	100 株 (議決権 1 個) (議決権所有割合: 100.0%)
譲渡価額	スタジオレックス 普通株式 520 百万円 (予定) ※ 1、2
決済方法	譲渡後、一定期間において毎月分割払い※ 1
異動後の所有株式数	0 株 (議決権 0 個) (議決権所有割合: 0%)

※ 1 株式譲渡における譲渡価額については、株式譲渡日以降 19 回に分割して決済することとなり、株式譲渡日である 2020 年 3 月 2 日における支払額は 29 百万円としております。それ以降、株式譲渡日における新設会社の貸借対照表及び譲渡日の前後に承継対象の事業から発生する収益・費用の金額、雇用状況等を基準にして調整が行われる予定であります。そのため、株式譲渡後に譲渡価額が変動する予定であります。(決済方法が毎月分割払いのため、ドリコム社からの毎月の支払額が変動することとなります。)

※ 2 上記譲渡価額につきましては、デュー・ディリジェンス過程において当社よりドリコム社に対して開示した対象資産の過去の経営成績や新設会社の事業計画等をもとに、ドリコム社において主に収益還元法を用いて適正と考える譲渡価額範囲を算出し、当社とドリコム社との間の交渉を通じて、その範囲内で双方が合理であると考えた価額を決定いたしました。

#### 6. 会計処理の概要

当該ゲーム事業の譲渡により特別利益を計上する見込みです。なお、当該特別利益の額及び計上時期については、現在、協議・精査中であり、確定後速やかに開示いたします。

## 7. 今後の見通し

本件譲渡により 2020 年 3 月以降、特別利益を計上する見込みではありますが、当期連結業績予想（2020 年 9 月期）においては利益予想を開示していないため、利益に対する影響については、判明次第速やかに開示いたします。

なお、本件譲渡までに発生するゲーム事業の売上高は当期連結業績予想の売上高 4,000 百万円に織り込んでおりません。重要な影響を与える見込みが生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上